

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	職員と利用者のやりとりは家族的で親密な関係が築かれているが、うっかり馴れ合い的な言葉になっている。	一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応を行う。	1、友達言葉を使わない。 2、です、ます、調で話す 3、プライバシーを守る(トイレや入浴の誘導はトーンを抑えた声掛けを行う。) 4、個人を尊厳し常に公平な視点でケアを行う	6ヶ月
2	40	職員は利用者さんとは別にキッチンで食事を摂っているため、一緒に食事を楽しむ機会が少ない	一緒に食事をする事で話題が広がり楽しみながら食事が出る。	1、同じテーブルを囲み食事する。 2、メニューや味付け、好みなど話題づくりをし楽しい雰囲気をつくる。	6ヶ月
3	1	理念が開設当初に作った物であり現在のニーズに即していない。	地域とつながりながら暮らし続けられるよう支援する。	1、理念の見直しを行う 2、新しい理念作りを行う	6ヶ月
4	11	ゆとりが無くサービスの質の低下を来たし安い。	業務の工夫でゆとりを持ってサービスが行える	1、時々はお弁当を購入し時間作りを行いレクリエーションや散歩を楽しむ。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。